

生ごみ処理容器モニター体験談

広報さばえ11月号に掲載しました「生ごみ削減にトライ！ 生ごみ処理容器モニター募集！」に応募されて、生ごみ削減にトライされている方々の感想です。感想を読んで気になった方はぜひトライしてみたい方はいかがですか？ お気軽にエコネットさばえにご相談ください。

LFC コンポスト (60代女性 Kさん)

1日約300gの生ごみを投入するのですが匂いも全然感じませんし、2ヶ月経ったのですが量も増えてないのにはびっくり！

中はホカホカ状態で毎日ワクワクしながら覗き込み、いろいろ発見している毎日です。持ち手が付いているので移動でき、何処に置いてもお洒落なインテリアにもなりますよ。生ごみを減らしたい肥をつくり、野菜やherbが栽培出来るそんなお洒落で楽しいライフサイクルを楽しんでいます。



トラッシュ (60代女性 Iさん)

10月26日から始めた最初のトラッシュが12月15日に一杯になりました。この間に投入した生ごみの量は約20kgです。今まで燃やすごみとして出していた生ごみを減らすことができました。凄いですね。この生ごみが消えて、再び投入する日が楽しみです。次のトラッシュに投入開始です。

キエー口 (30代女性 Nさん)

夫婦と乳幼児、3人家族です。離乳食の食べこぼしをゴミ箱に捨てるのが嫌だったのと、仕事が忙しくゴミ出しのタイミングが合わずに放置していたので、生ごみの臭いが気になり、始めました。

燃やすごみに出していた食べ残しや生ごみが無くなることで、気が楽になりました。また、生ごみの量にも気づき、調理の際に気を使うようになりました。自分の家庭の生ごみでは、もう少し大きなサイズが良いようです。

エコネットさばえ通信☆あとがき

【編集後記】

ごみ分別について話し合いをかさねる中で、自分のごみの出し方を見直し、少しずつ改善してきています。ごみを分別し、資源を守る大切さを理解して、正しいゴミ捨て術を身に着けたいと思います。編集委員：エコプラザさばえ広報部会

鯖江市環境教育支援センター
エコネットさばえ
 Sabae Environmental Learning Support Center
 (認定NPO)
 指定管理者：特定非営利活動法人 **エコプラザさばえ**
 エコネットさばえ通信 No.37 2021.1

〒916-0033 鯖江市中野町第73号11番地
 (中河小学校北西側)
 ☎ (0778) 52-0050
 ☎ (0778) 52-0909
 ✉ econet@ecoplaza-sabae.jp
 🌐 <http://ecoplaza-sabae.jp/econet/>



環境保全を担う人づくり 鯖江の未来を探しに行こう！ 2020 エコネットさばえ通信 冬号

鯖江市内で行われた様々な環境イベント
 新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら開催されました





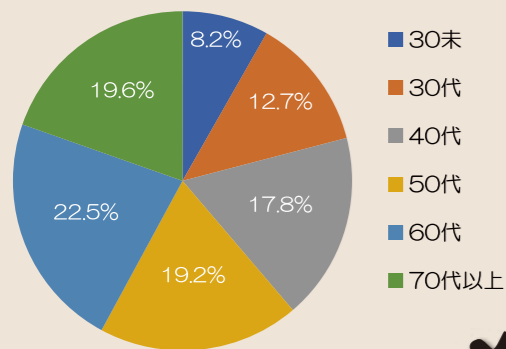
ゴミ分別アンケート結果

鯖江市では毎年ごみの組成調査を行っています。資源ごみが燃やすごみの中に入っています。

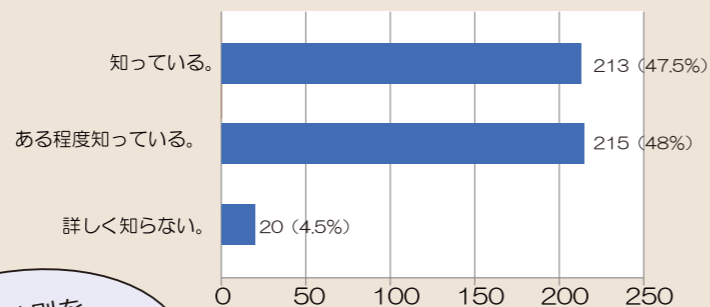
そこで、鯖江市民のごみの分別の理解を把握する目的でアンケートを行い449名の方からご回答をいただきました。その結果についてご報告させていただきます。

たくさんの方にご協力いただき有難うございました。

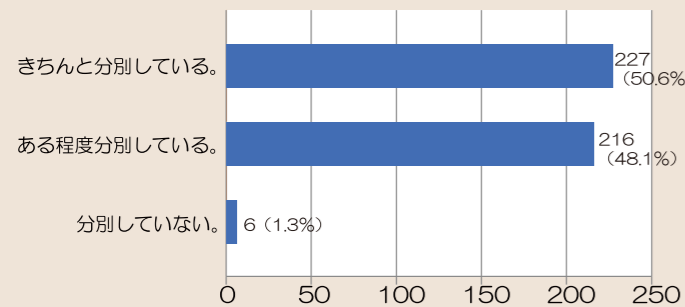
■アンケートにお答えいただいた方の年代



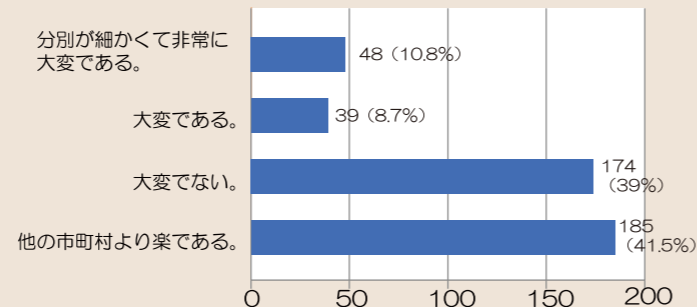
■家庭ごみの分け方と出し方について



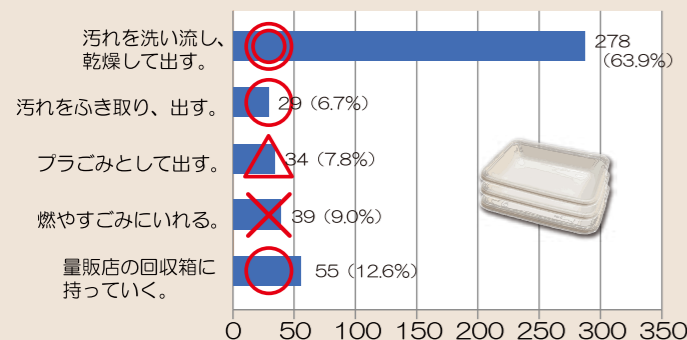
■ごみの分別について



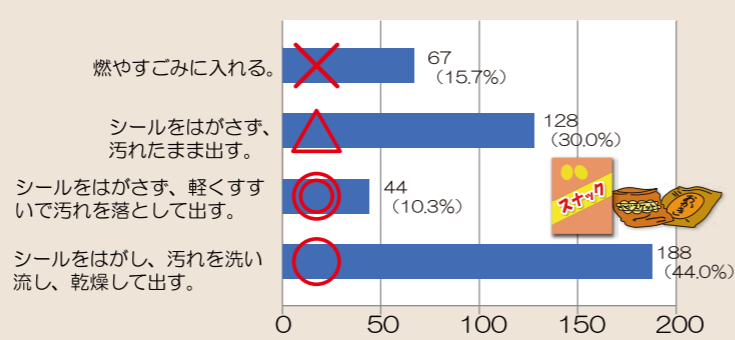
■ゴミ分別収集について



■白トレーの出し方について



■お菓子などの袋の出し方について（その他容器包装プラ）

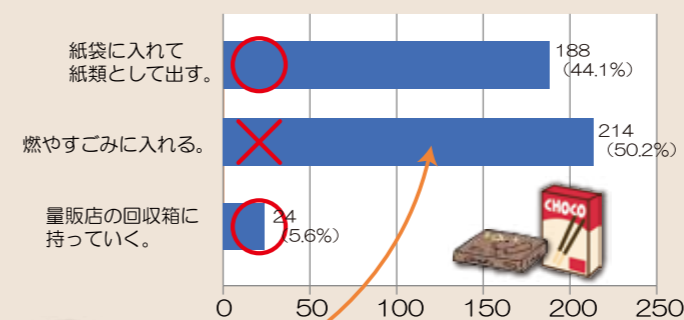


量販店の白トレーBOXに入れるのもいいですね。でも約1割の方は燃やしちゃってるってことですね。～ん～ん残念!!

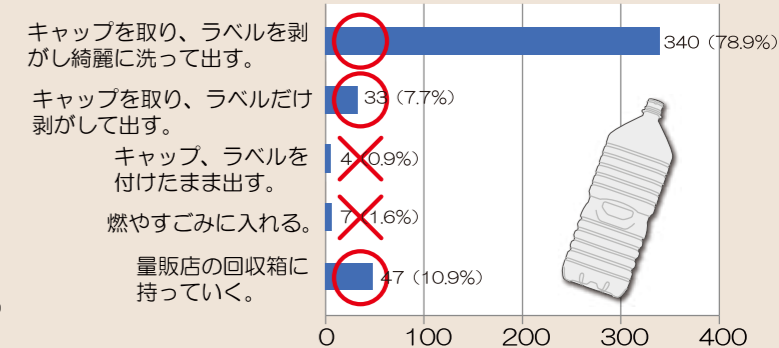
シールは、剥がさなくても大丈夫です。サッと水洗い程度で結構です。剥がすのがメンドクサく、ついつい「燃やすごみ」に入れてませんか？

必要以上に洗剤やお湯できれいに洗うと、かえってエネルギーの無駄遣いになります。

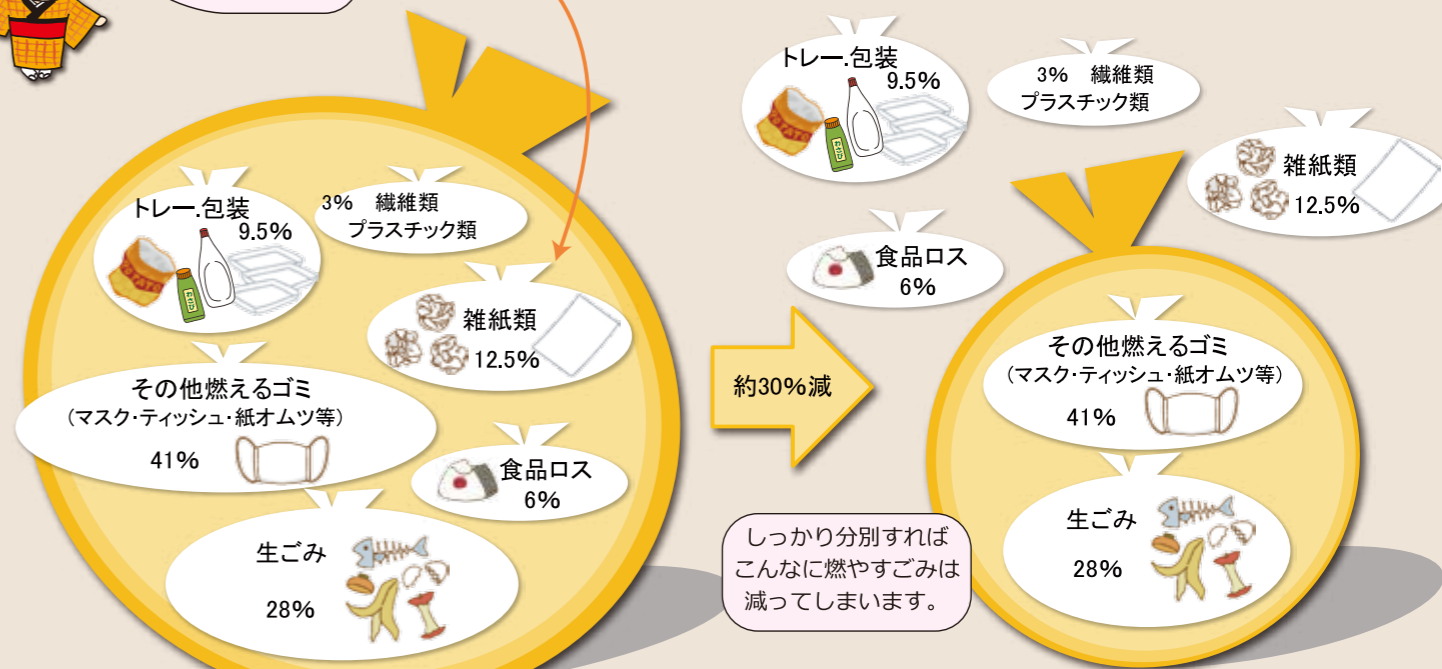
■お菓子の紙箱(雑紙類)の出し方について



■ペットボトルの出し方について



やっぱり半分の人が燃やしちゃってるんですね！



アンケートの結果を見ると、ほとんどの人が、分別方法を知っていて、分別して出していると回答しています。でも菓子袋、レトルト食品の袋、チューブ類、またお菓子の箱など（紙類）は50%の人が燃やすごみに入れていますが、これらをきちんと資源ごみとして分別して出せば、燃やすごみの2割は減らせます。

また、賞味期限切れや作りすぎなどで捨てている、いわゆる「食品ロス」を工夫して捨てなければ、3割減らすこともできます。生ごみも、次ページで紹介する方法などを活用すればさらに減らすことができます。

令和6年より燃やすごみの有料化が始まります。資源ごみの分別により2割・3割減らすことで、有料化になってもあわてず対応できます。

資源は限りあるものです。私たち世代のみが、その豊かさの恩恵を受けていて資源を使い切ってしまうと、将来を生きる子どもや孫たち、次世代人々の生活は大変なことになります。今を生きる私たちが生活スタイルを変え、循環する社会を作ることが大切です。その一歩として、資源ごみを分別して燃やすごみを減らしましょう。